

もっと
詳しく知りたい方へ

AIがチェックできる

より多くの
変化を見つけて
早期発見を
サポートします

「対象異常所見」が3種類→10種類へ

AIがチェックできる「対象異常所見」が、3種類から10種類へと広がりました。

これまでの3種類



1 結節・腫瘍影 (がん等の疑い)

肺にできる丸い影や
しこりのような影です。



2 浸潤影 (肺炎等の疑い)

肺に広がる白い影で、
炎症や感染などが考えられます。



3 瘢痕 (肺のバンク)

過と胸壁の間に空気が入り、
肺がしぼんだ状態です。

今回、新たに加わった7種類

1



結節・腫瘍影

(がん等れた状態)
しこりのような影です。

2



石灰化

(過去の炎症の跡など)
過去の炎症などの跡で、
白く石灰化した影です。

3



瘢痕

(組織の傷跡)
過去の病気や炎症の後に
残った傷跡です。

4



胸水

(水がたまった状態)
肺の周りや胸の中に
水がたまった状態です。

5



気胸/フリーエア

(消化管の空気など)
お腹の中に入り込んだ空気、
横隔膜の下にたまる空気です。

6



心拡大

(心不全などの疑い)
心臓が大きくなっている
状態です。

7



縦隔拡大

(大動脈瘤などの疑い)
心臓や大血管のまわりの
部分が広がった状態です。



AIは画像を解析して医師に
「異常の可能性」をお知らせするシステムです。

- ✓ AIが診断をするのではなく、医師の診断をサポートします。
- ✓ さらに、過去画像との比較を行い、より正確で丁寧な診断につなげます。

より多くの
変化を見つけて
早期発見を
率を協議を